

NEWS

JAAF
HIROSHIMA

陸協ひろしまニュース
財団法人 広島陸上競技協会

第72号



川村毅名誉会長を偲んで

川村 毅氏

大正11年3月17日生 享年89歳

●広島陸協会長(第四代)

昭和63(1998)年4月～平成17(2005)年3月

●広島陸協名誉会長

平成17(2005)年4月～平成23(2011)年10月

主な受賞歴

昭和20年 恩賜賞

昭和42年 日本学生陸上競技連合功労章

昭和47年 日本陸上競技連盟秩父宮章

昭和59年 中国文化賞

平成6年 日本陸上競技連盟功労章

平成8年 勲三等旭日中綬章

名誉会長の故川村毅先生、本当に永い間ご指導いただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

こうして川村先生に永のお別れの言葉を申し上げなければならぬとは、本当に夢のような気持ちです。

ちょうど10月8日、山口県で開催中の第66回国民体育大会に川村先生とご一緒に応援にかけ、その夜開催予定であった日本陸上競技連盟主催の懇親会にもご一緒する予定でした。新幹線の乗車券はもちろんのこと、ホテル等の手配も済ませており、ご一緒できるのを本当に楽しみにしておりましただけに、突然の先生の訃報に接したときは本当に驚き、信じることができず、残念の一語に尽きた次第です。

川村毅先生にはいつも笑顔と力強い握手で迎えて頂き、本当に色々ご指導いただきましたが、もうあの温かい握手をいただけないと思うと誠に残念です。

(財)広島陸上競技協会に残された先生のご功績は実に大きく、筆舌に尽くし難いものがあることは万人の認めるところです。

川村毅先生には、広島陸上競技協会の財団法人化をはじめ、選手の育成はもちろんのこと、協会の運営等について永い間力強いご指導いただきました。国際的に名選手であり、且つ名指導者であった郷土出身の故織田幹雄先生の偉業を記念した織田幹雄記念国際陸上競技大会を育て上げられたのははじめ、62回の長きにわたって続けられてきた中国駅伝の将来を予測され、さまざまな困難な問題を克服して、日本陸上競技連盟主催の全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に切り替えられたのは素晴らしい決断であったと思います。

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が単に熱烈な応援合戦だけでなく、ふるさと広場における全国県人会による郷土製品の紹介などの盛り上がりまで発展してきていることを誰が予想したことでしょうか。

また、戦後厳しい経済状況の中、県北の西城町(現庄原市)の町民が手造りで造った公認グラウンドで開始し、名選手を次々と産み出し、50回も継続して実施された近県陸上競技大会を衣替えし、既に第12回となる「ひろしまクロカン大会」が西城町道後山クロスカントリーコースにおいて誕生し、今や三千名を越える人達が走る立派な大会にまで育ったのは、川村毅先生のお力なくしては実現できなかったことであります。

川村毅先生のことを思い起こすと、どうしても私が旧制広島第一中学校の二年生の時、先生に体育の授業を習ったことを思い出さざるを得ません。特に川村毅先生にはサッカーのご指導をいただきましたが、私は庄原市の山奥の小学校の卒業生でサッカーの経験はまったくなく、ヘディングは頭で打つものと単純に思い、頭でっぺんで受けたところ脳震盪を起こして倒れてしまい、ヘディングは額で打つものだと優しく教えていただいたことが懐かしく思い出されます。

私が旭化成時代、陸上競技部の部長としてマラソンの宗兄弟を育てていた経験を生かし、川村毅先生を応援するようと言われて、(財)広島陸上競技協会の副会長に就任することになり、爾来皆様に大変お世話になることになりました。

関係者のご協力により、山口国体で第6位という立派な成績を納めることができましたのは、川村毅先生のご遺志とこれにお報いすべく頑張っていたいただいた指導者をはじめ選手諸君全員の努力によるものであると心から感謝申し上げます。

川村毅先生、吾々一同先生のご遺志を大切にしながら今後も頑張りますので、これからもどうぞよろしく暖かく見守ってください。

合掌

(財)広島陸上競技協会 第五代会長

亀井 郁夫

1日目
October 7 Fri
男の日

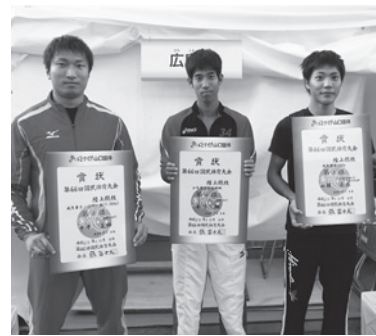
インターハイのリベンジをかけ、2人の高校生が大活躍。まずは少年男子A5000mでインターハイで入賞を逃した渡辺心(世羅高)が粘りの8位。そして少年男子A100mでインターハイで苦しくも決勝に残れなかった北村拓也(皆実高)が5位。2人ともインターハイでの雪辱を晴らす結果を残した。

また、成年男子走幅跳では日浦誠治(東海大)が、高校3年の大分国体以来の7位入賞を果たし、幸先のよい1日目を終えた。



左から日浦選手、北村選手、渡辺選手

国体男山縣! 現れる!!
過去に少年男子AB100m優勝を果たしている山縣亮太(慶応大)が、成年男子100mで10" 23という、ロンドンオリンピック男子100m参加B標準突破というすばらしい記録で3位入賞した。この記録は、広島県記録の更新とともに、日本ジュニア新記録である。来年のロンドンオリンピック出場が見えてきた。



左から中平選手、吉川選手、山縣選手

2日目
October 8 Sat
フィールドDay
日本ジュニア新記録 & フィールドDay

今日はフィールドDay。広島からの出場3種目すべて入賞を果たした。まずは、成年男子ハンマー投で中平圭祐(鹿屋体大)が5位入賞。

少年男子走幅跳で吉川翔(井口)が6位に入賞。長時間行われた成年女子棒高跳では、仲田愛(筑波大)が5位に入賞した。



仲田選手

4日目
October 10 Mon
成年の日

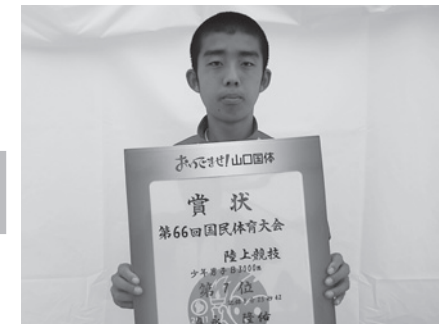
成年トリオが大活躍。まずは、昨日の予選を勝ち抜き、決勝に残った成年男子400m浦野晃弘(早稲田大)が5位に入賞した。成年女子100mHで木村文子(エディオン)が県新記録で優勝した。ゴール後、木村は、試合中の池田康雄(Team Big Stone)に発破をかけた。気合いが入った池田は、渾身の3投目に今期ベストとなる投てきを見せ、3位に入賞した。



左から木村選手、池田選手、浦野選手

5日目
October 11 Tue
有終の美

昨日の予選を通過し、決勝に残った少年男子B3000mで貞永隆佑(世羅高)が、7位に入賞し、大健闘した。



貞永選手

参加点10点を含む総合得点は、99点でした。天皇杯(男女総合)6位、皇后杯(女子総合)6位に入賞しました。この点数は、48回大会(東四国)の96点を上回り、広島県にとって過去最高の得点となりました。これも、広島県選手団の選手・コーチ・監督を支えていただき、観戦や応援をさせていただいたおかげだと思います。まさにチーム広島を遺憾なく発揮することができた大会だったと思います。ありがとうございます。

最後になりますが、川村 毅名誉会長のご冥福をお祈りするとともに、今大会を天国から応援してくださいました先生に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

監督から
広島県選手団 監督 中野 繁
大林 和彦



左から大林監督、中野総監督



東日本大震災復興支援
第66回国民体育大会

おいでませ! 山口国体

チーム広島 大躍進!!

10月6日(木)国体会場へ向かっている途中、訃報が入った。
広島陸上競技協会名誉会長 川村 毅先生が亡くなられたとの悲しい連絡だった。
選手たちに、この訃報を伝え、ユニフォームに喪章をつけ、感謝の気持ちと追悼の思いを胸に、選手一同この大会に臨んだ。

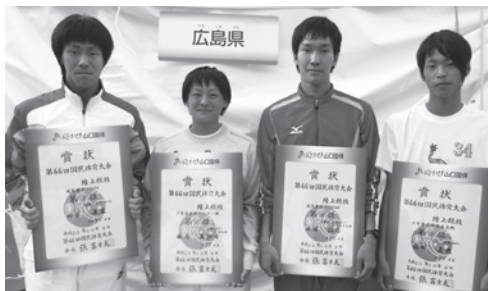
天皇杯 6位
皇后杯 6位

3日目
October 9 Sun
広島Day

この日は、福福コンビが福の神を呼ぶ日となった。まずは、1人目の福の神、福島美沙希(安芸高)が少年女子ハンマー投で大会新、県高校新で優勝し、勢いがあった。少年男子走高跳で前田直哉(沼田高)が5位となると、昨年度、少年の部5000m競歩で優勝した西塔拓己(東洋大)が、成年男子10000m競歩で、山縣に負けじと日本ジュニア新記録、県新記録で4位に入賞した。

そして、2人目の福の神、福部真子(皆実高)が、少年女子100mHで予選からぶっちぎりの大会新記録及び県ジュニア新記録で優勝した。また、エディオンコンビも大活躍! まずは、成年女子走幅跳で、木村文子が3位に入賞。成年女子1500mで、久保瑠里子が2位に入賞した。その後、行われた成年男子1500mで、田子康宏(中国電力)が3位に入賞。きわめつけは、少年女子やり投で谷尻桃子(御調高)が8位に入賞し、本日で45点を獲得し、天皇杯総合順位トップタイにたった。

左から田子選手、福島選手、西塔選手、前田選手



谷尻選手



左から久保選手、福部選手、木村選手

Team HIROSHIMA

Photo Album



▲予選通過の男子リレーチーム(左から北村選手、山縣選手、浦野選手、角山選手)



▲Tシャツ考案の中野総監督と選手たち(ぞうTシャツ)



▲Tシャツの後ろは...こんな感じよ~!



▲テントでは、入賞・優勝のラッシュで表彰掲示もいっぱい!

平成23年度
財団法人日本陸上競技連盟 栄章受賞者

功労賞	三宅 勝次(副会長)	高校優秀選手章	西塔 拓己(県立広島商業高校→東洋大学)
中学優秀指導者章	福光 裕次(世羅西中学校教諭)	中学優秀選手章	福部 真子(府中学校→皆実高校)
高校優秀指導者章	秋山 定之(県立広島商業高校教諭)	安藤百福記念章	新羅 武(湯田陸上)



▲功労賞を受賞された 三宅副会長



▲師弟コンビで受賞の西塔選手と秋山先生



▲城西選手(世羅西中→世羅高)を育てた福光先生



▲栄章受賞者 記念写真



▲三宅先生から授与された秋山先生



▲三宅副会長から中野総監督へ授与していただいた天皇后杯6位表彰状



▲皇后杯6位表彰状を受け取る大林監督



▲ともに戦ったコーチたち



第66回山口国体 広島選手団 結果一覧

[期日]平成23年10月7日(金)~11日(火)[会場]山口県維新百年記念公園陸上競技場



種別	氏名	所属	種目	結果				備考
				予選	準決勝	決勝	得点	
成年男子	山縣 亮太	慶應義塾大学1	100m	10"52(+1.4) 1着	10"35(+0.1) 1着	10"23(+1.8) 3位	6	ジュニア日本新・ 県新五輪B標準
	浦野 晃弘	早稲田大学3	400m	46"80 1着		46"99 5位	4	
	田子 康宏	中国電力	1500m	3'46"82 1着		3'43"83 3位	6	
	西塔 拓己	東洋大学1	10000mW			40'44"70 4位	5	ジュニア日本新・ 県新
	萩原 翔	福山工業高教	棒高跳			4m80 13位		教員枠
	日浦 誠治	東海大学3	走幅跳			7m47(-1.6) 7位	2	
	中平 圭祐	鹿屋体育大学大学院2	ハンマー投			63m37 5位	4	
少年男子A	池田 康雄	チームビッグストーン	やり投			75m86 3位	6	
	北村 拓也	広島皆実高校3	100m	10"81(-1.8) 3着	10"78(-1.5) 2着	10"69(-0.1) 5位	4	
	北村 将之	広島皆実高校3	400m	49"73 7着				
	渡邊 心	世羅高校3	5000m			14'18"61 8位	1	自己新
	山本 明	広島工業大学高校3	400mH	52"92 4着				
	吉川 翔	広島井口高校3	走幅跳			7m13(+0.5) 6位	3	
少年男子B	角山 巧	広島なぎさ高校1	100m	11"27(+1.6) 6着				
	貞永 隆佑	世羅高校1	3000m	8'33"79 5着		8'25"42 7位	2	自己新
少年男子共通	前田 直哉	沼田高校2	走高跳			2m06 5位	4	
男子共通	北村 拓也	広島皆実高校3	4×100mR	40"95 4着	40"79 4着			
	浦野 晃弘	早稲田大学3						
	山縣 亮太	慶應義塾大学1						
	角山 巧	広島なぎさ高校1						
成年女子	小笠原衣里	広島経済大学4	100m	12"28(+0.5) 5着	12"26(+0.1) 7着			
	久保瑠里子	エディオン	1500m			4'18"12 2位	7	
	木村 文子	エディオン	100mH	13"65(-0.2) 1着		13"19(+0.4) 優勝	8	県新
	仲田 愛	筑波大学大学院1	棒高跳			3m80 5位	4	
	木村 文子	エディオン	走幅跳			6m10(-0.8) 3位	6	
	渡邊 茜	九州共立大学2	砲丸投			13m93 9位		
少年女子A	沖 佳織	沼田高校3	100m	12"15(+0.8) 2着	12"37(-1.1) 4着			
	沖 佳織	沼田高校3	400m	57"44 6着				
	木岡美帆乃	世羅高校3	3000m	9'35"21 8着				
	福島美沙希	安芸高校3	ハンマー投			52m71 優勝	8	大会新・ 県高校新
少年女子B	下花 史佳	世羅高校1	1500m	4'37"14 10着				
	福部 真子	広島皆実高校3	100mYH	13"90(-0.3) 1着	13"71(+1.4) 1着	13"62(-0.6) 優勝	8	大会新・ 県新
少年女子共通	上浦 千明	広島井口高校3	800m	2'18"82 7着				
	新田 梓	沼田高校2	走高跳			記録なし		
	谷尻 桃子	御調高校3	やり投			46m42 8位	1	
女子共通	福部 真子	広島皆実高校1	4×100mR	46"91 4着	40"75 4着			
	木村 文子	エディオン						
	沖 佳織	沼田高校3						
	小笠原衣里	広島経済大学4						

平成23年度

(財)広島県体育協会体育賞[功労者の部]／(財)広島陸上競技協会表彰受賞者一覧

(財)広島県体育協会体育賞

功労者の部

- 大田 恒二(広島陸協)
●島山 洋二(広島陸協)
●入船 信之(広島市スポーツ協会)
●谷岡 憲三(呉市体育協会)
●加藤 猪三(三次市体育協会)
●長谷川 泰(県高体連)

(財)広島陸上競技協会

功労章

- 榎 正登(広島市)
●田中 明(広島市)
●岡山 薫(広島市)
●原田 治男(安芸郡)
●堀江 信之(庄原市)
●山崎 繁雄(竹原市)
●和田 和英(福山市)
●天野 孝三(マスターズ)

優秀選手賞

[団体の部]

- 広島県チーム 天皇杯第16回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
第3位 2時間20分37秒
箱田幸寛(世羅高校)、城西廉(世羅西中学)、岡本直己(中国電力)、渡邊心(世羅高校)、松井智靖(世羅高校)、田中健(三原第五中学校)、鏝坂哲哉(明治大学)

[個人の部]

- 山縣 亮太(修道高校／慶應義塾大学)
2011日本ジュニア室内陸上競技大阪大会(2月5日・大阪)
男子ジュニア60m 6秒71 大会新記録
第27回日本ジュニア陸上競技選手権大会(10月22日・瑞穂)
男子ジュニア100m 10秒52
●福部 真子(府中中学校／広島皆実高校)
2011日本ジュニア室内陸上競技大阪大会(2月6日・大阪)
女子中学60mJH 8秒68
第64回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(8月7日・岩手)
女子100mH 13秒74
●木村 文子(エディオン)
第95回日本陸上競技選手権大会(6月12日・熊谷)
女子100mH 13秒32
第59回全日本実業団対抗選手権大会(9月25日・徳島)
女子100mH 13秒25
●チャールズ・ディランゴ(世羅高校)
第64回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(8月6日・岩手)
男子5000m 13分40秒99
●泊野 史香(星槎国際高校)
第46回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会(8月12日～14日・国立)
女子100m 13秒11
女子200m 27秒45
●久保 瑠里子(エディオン)
第59回全日本実業団対抗選手権大会(9月24日・徳島)
女子800m 2分05秒07

- 前田 直哉(沼田高校)
第5回日本ユース陸上競技選手権大会(10月23日・瑞穂)
男子走高跳 2m07
●高橋 広明(沼田高校)
第5回日本ユース陸上競技選手権大会(10月23日・瑞穂)
男子走幅跳 7m18

第66回国民体育大会優勝および入賞の部

- [優勝] ●木村 文子(エディオン)
成年女子 100mH 13秒19
●福島 美沙希(安芸高校)
少年女子A ハンマー投 52m71大会新
●福部 真子(広島皆実高校)
少年女子B 100mH 13秒62大会新
[2位] ●久保 瑠里子(エディオン)
成年女子 1500m 4分18秒12
[3位] ●山縣 亮太(慶應義塾大学)
成年男子 100m 10秒23ジュニア日本新
●田子 康宏(中国電力)
成年男子 1500m 3分43秒83
●池田 康雄(Team Big Stone)
成年男子 やり投 75m86
●木村 文子(エディオン)
成年女子 走幅跳 6m10
[4位] ●西塔 拓己(東洋大学)
成年男子 10000mW 40分44秒70ジュニア日本新
[5位] ●浦野 晃弘(早稲田大学)
成年男子 400m 46秒99
●中平 圭祐(鹿屋体育大学)
成年男子 ハンマー投 63m37
●北村 拓也(広島皆実高校)
少年男子 100m 10秒69
●前田 直哉(沼田高校)
少年男子 走高跳 2m06
●仲田 愛(筑波大学)
成年男子 棒高跳 3m80
[6位] ●吉川 翔(広島井口高校)
少年男子A 走幅跳 7m13
[7位] ●日浦 誠治(東海大学)
成年男子 走幅跳 7m47
●貞永 隆佑(世羅高校)
少年男子B 3000m 8分25秒42
[8位] ●渡邊 心(世羅高校)
少年男子A 5000m 14分18秒61
●谷尻 桃子(御調高校)
少年女子共通 やり投 46m42

新記録賞

[県小学生記録]

- 湯淺 菜那美(熊野陸上)
女子800m 2分26秒74
第23回広島県小学生総合体育大会(10月23日)
●佐々木 舞(東広島TFC)
女子走幅跳 4m85
第23回広島県小学生総合体育大会(10月23日)

[県中学生記録]

- 角田 祥基(五月が丘中学校)
男子四種競技 2818点
第45回中国中学校大会(8月7日・浜山)
●平賀 香子(高屋中学校)
女子100m 12秒31
第38回広島県中学校陸上競技選手権大会(7月16日・広島広域)
●中本 香穂(佐伯中学校)
女子200m 25秒19
第60回広島県中学校総合体育大会(9月25日・みよし)
●広島県女子チーム
平賀香子・中本香穂・悦木波音・湯浅佳那子
女子共通 4x100mR 49秒04
第42回ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月28日～30日・日産)
[県高校生記録]
●佐々木 達也(沼田高校)
男子八種競技 5443点
第64回中国高校対抗選手権大会(6月17～18日・山口)
●福部 真子(広島皆実高校)
女子100mH 13秒74
第64回中国高校対抗選手権大会(6月7日・北上)
女子100mYH 13秒62
第66回国民体育大会(10月9日・山口)
●福島 美沙希(安芸高校)
ハンマー投 52m71
第66回国民体育大会(10月9日・山口)
●谷尻 桃子(御調高校)
女子やり投 48m14
第5回日本ユース陸上競技選手権大会(10月21日・瑞穂)

[県記録]

- 山縣 亮太(慶應義塾大学)
男子100m 10秒23
第66回国民体育大会(10月9日・山口)
●鏝坂 哲哉(明治大学)
男子10000m 27分44秒30
英国トライアルゲーム(7月29日・バーミンガム)
●西塔 拓己(東洋大学)
男子10000mW 40分44秒70
第66回国民体育大会(10月9日・山口)
男子20kmW 1時間23分45秒
10km 42分31秒
第50回全日本競歩高島大会(10月30日・山形)
●西塔 拓己(県立広島商業高校)
男子10kmW 42分51秒
第22回ジュニア競技競歩(2月20日・神戸)
●岩本 御樹(マツダ)
男子10マイル 47分20秒
第51回唐津10マイルロード(2月13日・唐津)
●久保 瑠里子(エディオン)
女子800m 2分01秒90
ヨエンスーゲームズ(7月27日・ヨエンスー)
女子1500m 4分15秒88
フランダースカップ(8月6日・ニウヴェ)
●木村 文子(エディオン)
女子100mH 13秒19
第66回国民体育大会(10月9日・山口)

青少年の夢を応援します!

青少年健全育成協力企業

- 株式会社サタケ
●株式会社イズミ
●学校法人石田学園
●株式会社アシックス
●広島駅弁株式会社
●旭化成株式会社
●株式会社中電工
●有限会社道後山高原サービス
●株式会社広島銀行
●広島電鉄株式会社
●株式会社もみじ銀行
●株式会社HOST
●広島ガス株式会社
●株式会社いとや
●広島総合警備保障株式会社
●株式会社大前工務店 (順不同)